

## 第3回 (2022年度) 日本セラミックス協会功績大賞受賞者

おかだ きよし  
岡田 清氏



岡田 清氏は、アルミノケイ酸塩系セラミックスの天然原料のキャラクタリゼーションと、加熱相変化に関する研究から、それらの多孔質化、環境機能材料化に至る広範囲にわたる研究を通してセラミック原料およびセラミック環境機能材料分野の発展に多大な功績をした。なかでも、様々な原料からのムライトの生成反応の研究、その際に形成されるナノ組織を利用した調湿能と高耐熱能を有する新規な $\gamma$ - $\text{Al}_2\text{O}_3$ 多孔体の研究、有機繊維を造孔材とした押出成形による高透過性で高揚水能を有する新規ムライト多孔体とそのヒートアイランド対策への活用研究、陽イオンと陰イオンの同時吸着機能を有する非晶質 $\text{CaO-Al}_2\text{O}_3\text{-SiO}_2$ などによる水質浄化の研究、ジオポリマーに関する研究等のオリジナリティの高い研究でこの分野の発展に大きな貢献をした。さらに教育・研究分野で活躍する多くの人材を育成した。これらの成果に対して1996年に学術賞、さらには2015年にフェロー表彰を受けている。

本協会に於いては、1994年度以降11年間理事を務めるとともに、論文誌の編集委員長、運営企画委員長、総務理事、副会長、さらには会長として、特に協会の国際化の促進、表彰制度の整備・充実化、男女共同参画の促進などに尽力した。またこの間、部会活動としては、原料部会を発展的に改組した資源・環境関連材料部会の立ち上げや生体関連材料部会の創設メンバーを務めるとともに基礎科学部会長、資源・環境関連材料部会長としてそれぞれの部会活動の発展に貢献した。

以上、同氏は本会における活動を通じてセラミックス分野の発展に顕著な業績を挙げるとともに、長年にわたって日本セラミックス協会の活動に極めて多大な貢献をされた。よって、日本セラミックス協会功績大賞として表彰する。

**略 歴** 1976年3月東京工業大学大学院理工学研究科博士後期課程化学工学専攻修了。1977年東京工業大学助手、助教授（この間に英国リーズ大学客員研究員）、1992年工学部教授、2009年応用セラミックス研究所所長、2011年理事・副学長を経て2018年退職。

**受賞歴** 1996年日本セラミックス協会学術賞、1998年日本粘土学会学会賞、1999年日本セラミックス協会セラモグラフィック賞銀賞、2014年学術論文誌論文賞、2015年フェロー表彰

**協会歴** 1994～1995年度、1998～1999年度、2002～2006年度、2008～2009年度、2012年度理事（2008～2009年度、2012年度副会長、2012～2014年度代表理事（2013～2014年度会長））